

園児と一緒に砂遊び

八学短大幼児保育学科ゼミ実習

八戸

八戸学院大短期大学部幼児保育学科は21日、八戸市の白浜海岸で砂浜ゼミ実習を実施した。学生約



園児と砂遊びをする学生たち

100人と、系列の幼稚園児約40人が参加。八つのゼミごとに砂浜の環境を生かした活動を考え、砂の彫刻作りやスポーツなどを楽しんだ。

実習は2006年度から学科全体が参加する行事として実施。子どもの創造力を育む砂遊びの利点を体感しながら、ゼミ間の交流を深める機会としている。

昨年度までは全員で砂の彫刻を作っていたが、今回からゼミごとに活動内容を決めた。

この日は晴天に恵まれ、軽装の学生たちはスコップを使って彫刻を作ったり、ビーチバレーをしたりして歓声を上げていた。

幼稚園児と一緒に砂遊びをした1年の浅沼妃夏さん(18)は「いつもは遊ぶ物がある環境で子どもたちと接するが、砂や水という自然の中で子どもたちが工夫して遊ぶ様子を見ることができた」と充実した表情を見せた。

活動終了後は砂浜を清掃して環境保全に努めた。(上條哲洋)